

土地改良事業設計指針「ため池整備」 試験項目及び試験値 （ロックレイ試験値比較）

P18より		P124より		P153より		P18より	
試験項目	試験規格	実施項目	試験頻度		目安 参考値	ロックレイの試験値	
			遮水ゾーン	ランダム			
土粒子の密度	JIS A 1202	○	A	A	2.6以上	2.77	
粒度試験	JIS A 1204	○			(75μm以下) 50%以上	50%以上あり	
含水比試験	JIS A 1203	○			60% ～ 70% ?	最適含水比 = 17.29%	
液性限界・塑性限界試験 (塑性指数が15以下の材料ではクラックが発生しやすいと言われている)	JIS A 1205	○				液性限界=27.75 塑性限界試験=16.77 塑性指数=10.97	
現場密度の測定	JIS A 1214	—	B	B		D値95%以上	
現場透水試験	JGS 1316	—	B	—	k =1～5 × 10 ⁻⁵	5.1 × 10 ⁻⁷	
突固めによる土の締固め試験	JIS A 1210	○	A	A			
透水試験	JIS A 1218 他	○			5 × 10 ⁻⁵ cm/s (設計値以下)	透水係数=1.3 × 10 ⁻⁷ cm/sec	
一軸圧縮試験	JIS A 1216	△				159kN/m ²	
三軸圧縮試験	JGS 0524 他	○					
圧密試験	JIS A 1217	△					
単調載荷実験	JGS 0523	△					
液状化試験	JGS 0541	△					
繰返し三軸試験	JGS 0542	△					

○は必ず実施、 △は必要に応じて実施

頻度A : 工事手前に 1 回及び盛土材料の変わった時

頻度B : 盛土高さがおおむね60cmに達するごとにおおむね50m～100m間隔に1回